

出席「自由」

巢立つ子に
替わりて来る
子犬には
赤ちゃん言葉で
妻は接して

荒田 豊
(同五席)

ピンコロ
目をパチクリ・・・
ああ、ああいつこと
わたしも
そうありたい

山根 房子

秋を忘れた
卓上カレンダーが
大股広げ
だらしなく
のびている

ゆうゆう

今まで
たいした病気もせず
ここ迄これ
私って
幸せものです

懸川千恵子

悲しいニュースは
もうごめん
せめて
夢で夢見て
につこりと

清月

一人身のわが世の
春とのたもつて
雨音に
夜の灯影の
人恋しさは

亀田 臣男

ジャバっと
洗い落とせば
体感温度が
二度さがる
私の厚化粧

倉本美穂子
(同五席)

レポート・倉本美穂子 作成・かやみちこ
ゆい 雅子

奥様に対する嫉妬かな？情景が目には浮かぶように
楽しい歌ですね。犬を飼っているので実感しています。
猫も可愛いわ。共感です。
お客様から頼まれて預かった犬、CMに出てくる犬
とよく似ていて可愛いんです。妻の心を癒してくれ
ています。七五調が抜けないなあ。

居眠りの時のとかな？作者は心が穏やかで可愛
い人ね。ピンコロまで書いてあると、もっと分か
りやすかったと思っけ。。。
団体旅行の乾杯の首頭でピンコロの言葉を
言われて、詠んでみよっと思いました。

卓上カレンダーのだらりとした感じがよく伝わっ
て、メモアイのある歌。留めが外れたのと、自分を
兼ね合わせて上手く詠まれているわ。
残暑が厳しく、自分もだらりとしていたし、カレンダー
の留めが外れていつもよりだらりしく見えたので、
なんだか面白くなって詠みました。

いろんな病気をしたが、今日まで生かされているの
で共感です。元気だからこそ、今日の幸せも、歌会も
楽しむことが出来て、実感しています。

取りあえず、今日までお産以外の入院もなく、元
気に過ごせて、これが私の財産かなと思います。

嫌なことばかり見たり聞いたりするので、せめて夢
の中ではにっこり出来たらいいなあ。暗いニュースは
かりの中で皇室のことなど明るいニュースもあり共感。
最高点を入れました。

ハケーン、テロ等、暗いニュース切なかつたので、せ
めて夢の中では笑っていたいわ。。。

フランス映画のよう。裏町のアパートの情景が浮か
んだ。寂しくてしみりますね。一、二行で気軽にさ
もわかるが雨の夜は独りじゃ寂しいですね。
独り身は気楽ですが、雨の夜などは人恋しくなり
ます。まあフランスでいいかな。

厚化粧の方かな？流れるとどっつなるんだろ？涙が
横に流れることもあるが、シャキッと心意気を持って
生きます。全体にザバツとして拍手を送りたい。
家にいる時はすひんですが、出掛けるときにはお
化粧が必要不可欠。でも暑くて。。。洗い流すときっ
ぱり、幾分涼しく感じられて歌に。

肌で触れ合い
言葉で触れ合い
肌でふれあい
心でふれあい
真実でふれあう

早瀬 光司

美しい日本語、常に「こつ」あたりは、触れ合いの重なりにも、温か味と寂しさを感じる。5行できちんとしてめてあり感心しました。
男女の間のこと。一、二行は、始めの段階。三、四行は、裸、心の触れ合い。五行は男女を問わず真実で触れ合えればよいなあ。

暑い夏
熱い焼肉
食べて飲み
友の別荘で
厚い友情

原 ヤス子

暑さに負けるな！って感じですが。暑氣払いの気持ちをかかって採りました。お友だちの厚い友情がよかったのかな。

作者欠席のためコメントなし

はっか
二十日大根
芽がいつぱい
どれも大切な命
引き抜くことは
できません

中塚 育子

温かい心と切なさを上手く詠まれている。世の中でも、皆がもつと小さなことにも温かい目を持つたら、変わるのではと思いました。
種を蒔いたらいつぱい芽が出たが、孫が生まれたことと重なって抜くことが出来なかった。大きく育ってほしい気持ちを詠みました。

一昔前のことは
すぐ蘇るのに
今朝の伝言に
まごつく
認知症

藤本フミエ
(同五席)

よくわかります。私も歳を取りつつあるので同感です。こんな症状のもどかしさを歌にされていることに感心しました。
90歳の知り合いのおばあちゃん、鏡を見て恥ずかしくしたり、「ありがとっ」をたくさん言われてとても可愛いボケ方なんです。

ダンスでしょ
シャンソンでしょ
絵手紙に古寺めぐり
五行歌なんてどう？
え、え、又又トライ

福原 祥子

いろいろトライされている姿に拍手、素敵ですね。こんな生き方、尊敬します。又又トライ、感心してしまします
好奇心のかたまりです。どれもしりきれトンボだけど、こんなことをさせてくれる主人に感謝しています。

鳩胸出っ尻は
美人の原点
妻を選んだ
私の目は
曇っていた

いくたあつむ

鳩胸出っ尻が、本当に美人の原点なの？四、五行目がおもしろいわ。そう言いながら仲の良い夫婦なよね。

乱視だったので・・・

人恋つる寂しい秋
澄みきつた空の茜雲
静かな宵の虫の声
ダイエツトが気になる食欲
こんな秋が一番好き

やち子

ちよつと長いけど秋らしさがよく出ていていい歌ですね。三行目までが詩の流れのよつと、四行目の落ちが好き。お人柄がわかるわ。
秋になると六人の娘たちが次々と嫁いで、母がとも寂しがついてた。別な視点で秋を感じてみたくて詠みました。

電車の少女は
隣の若者の
膝に寄り添い
眠る 心は
白無垢のまま

柴 まさこ

少女がとつても可愛い〜。オバサンだったら若者は嫌だろうけど、可愛い少女だからずっとそばさせてあげてたのね。
四行目の空きをひと工夫すると、もっと歌にアクセントがでるのでは？
勤め帰り、ひと電車ずらすと出会えるランドセル背負った少女。座るとすぐに寝てしまっんです。青年の顔と少女の顔が絵になって、皆ですっと見てたんですよ。

すず風の中で
昼寝をする
やっと来た
秋のおとづれ
ひとときのやすらぎ

内山 慶子

今年の夏はとっても暑くて、やっと最近少し凌ぎやすくなってきた。その感じが良く出ている。段下げがあるが、普通は頭を並べた方がいいね。
一時期涼しくなったけど、またすぐ暑くなってほんの「ひととき」だったので。

溶けたって
ドロップス
缶の底で
意地が
固まる

鈴野 鳴道
(同五席)

最初と最後の対比がいいなあ。自分と重ね合わせて意地もあるんだぞときっぱりと。
私も姑として固まるうと思った。
ドロップスの気持ちを歌っていて面白い。
ひと言いわせていただければ、崩れても最後まで女だぞ」と。

嵐吹き
豪雨を集め
渦巻く濁流
水煙にかすむ
警報の赤い灯

山田 正巳

我が家の状況と歌とが非常に一致して、まさにこの通りだと。
選挙どころではないだろうなと思った。
四、五行目で締まって情況がよくわかる。
うちの裏の太田川も、台風の時我真つ暗な中に水が流れ赤い灯がついてすごかった。

夏休みも終わり
孫達も去んで
忘れものの
一台の電車が
テレビの上に

富垣 豊子

夏休みは孫たちで賑わって、ふと気づくと忘れ物が・・・ほつとしたのと淋しいのとで、ちょっとジーンとされているのが伝わってくる。
一年のうち一番賑やかなのが夏休み。帰った後ほつとしてふと見ると「あ、忘れてるわ〜」で。

君のふるさとは
この温もりだと
気づいてくれるよね
腕にある
小さな命

かやみちこ
(二席)

おばあちゃんが抱っこしているのかな？ いやお母さんでは？ 妻もこうして育てたのかと。
若い夫婦と思っただよ。優しい気持ちで語りかけているのが素晴らしい。しっかり抱きしめて育てれば切れる「子にはならないのでは」と思わされた。
子どもにとって一番の故郷は「お母さん」だと思っ。「母の」の温もりこそが故郷なのよ」と。

2
1

傘持たず
ずぶ濡れになった
大雨を
分けてあげたい
四国のダムに

森廣 房子
(三席)

2
2

シェーン
ラストシーンが
印象的だ
カムバック
私の青春

紫陽花

2
3

ゲームで
頭を
鍛える
孫の
夏休み

こころ
(四席)

2
4

ほんの駅まで
君を見上げながら
並んで歩いて行くときの
髪がゆるるリズム
こちよ

ゆい 雅子

何とかしてあげられないものか、今の科学で台風の目を射抜くマシーンでもつくれないものか。世の中の皮肉を感じた。銀行も貸したい所は要らないし、借りたい所は貸してもらえない。雨もいらない所に多すぎて……。言葉のリズム、運び方、特に四、五行がお洒落でとても惹かれた。「例置法」意味を強調したい時に使いますね。だいぶ前のことなので、今こうして出すのは時期がずれてピンボケでしょうか？
いえいえ、「本誌」などには二ヶ月くらいずれたりしますからねえ。大丈夫、話題性があつたらどンドンそつしてください。

今頃になってよく思い出す、青春っていいなあ。作者がわかるようなわからないような(笑)いい映画だったよね。懐かしいなあ。
「第三の男」「鉄道員」「ローマの休日」等ラストシーンだけある会場で流したらとても好評で。ディレクターに「その視点がいい」と絶賛された。

怒りたくなる気持ちをユーモアに変えたところがいい。親ならひねくつた歌だけど、おばあちゃんが言うつと ちよつとふんわかでいいなあ。
ゲームも達成感があつたりするので、活用の仕方でもいい面もあると思うよ。

質問？頭を鍛えているのは孫ですか、おじいちゃん おばあちゃんですか(笑)
夏休みは四人の孫のお守です。放つておいたらゲームをすること。それで「何でも、やるときには一生懸命やりなさい」と貼り紙をしたら、けじめをつけられました。

好きな歌。息子さんが恋人かわからないけど、こんなに気持ち弾んで、ほんの僅かな時間にも幸せを感じられるっていいですね。
老人夫婦だと面白くないな、若くないとね(笑)
お菓子が喉に詰まりますなあ(大笑)
若くなくてすみませんね。歩き方にリズムがあつてその人の髪も揺れるんです。ま、若くなくても恋してる時はこんな感じかと。

裸電球の

スイツチみたい

パツと明るく

できたらいいのに

「心」の切り替えも

野

(一席)

悩みを抱え込む性格なので、こんな風に切り替えられたらなあ」と「裸電球」に脱帽。心の切り替えが早いと生きていくのが楽ですよ。一つ一つ言いたいことがキチツツと言えている。こんな風にかけたら……。

久々のヒットで嬉しい！ 煩惱が多すぎる夏だったけど、八百屋さんに裸電球がぶらさがっているのをみて「これだ！」とメモしました。

バンザイ、バンザイ……

丸矢 信子

社会歌。なかなか取り上げるのは難しく、今日も一首だけ。こんなニューズ性に富んだことを

当選確実！
あの女性も、この女性も
でもやつと四十三人
まだまだ少ない女性議員

即、鋭く詠まれていいと。もう少し女性議員増えてほしいな。少し歌が長いかな？ 出来上がった歌を声に出して読んでみたらよくわかります。四、五行に重複感があつて、長いけど、だれも詠んでいない題材なので努力賞ですな。

こういう形のを詠んでみたかったです。話題になつてゐることを詠むこと、女性が必要だということをご考えられますか？

いいですよ。一つの現象に焦点を絞って、五行歌として整理していくことですね。そして女性の参画に賛成しているよ、という気持ちはあります。

主婦仲間

手作り料理で

昼の宴

お持ち帰り

夕げは主人と

住吉 邦子

昔あつたなあ、「今日は作らなくていい、余裕だわ」とそ知らぬ顔で出していました。私は「おすそ分け」といつてでしたわ。俺もそんなの食べたのかなあ(笑)ご主人の姿も想像できて、ほのぼのとした幸せを感じます。

二十五年来の友人同士で、多めに作つてゐるんですよ。女性はいよいよね、と楽しんでます。

そんなに遠く迄

青い鳥を

追いかけても

ほら あなたの側に

いるじゃないの

道原紀代子

(同五席)

身近にある幸せに気づきなさい、ということでしょうね。ジーンとききました。

「無いものを欲しがらずに、あるものを喜べ」と言われたことがあつて、その通りだと。

青い鳥、思い出しました。

今、悲しい思いをされた人があつても、自分にも幸せがあつたんだと思つていけばいいんじゃないかなと思います。

今年は
スタートの年だ
と占ってもらい
その気になって
いろいろ始める

七瀬

すぐそこまで
台風来てるのに
エンゼルストランペット
純白のまま
ほほえんで

森鈴

就職ガイダンス？
どんな踊りか
聞く 祖母に
説明の前に
深呼吸！

杏の花見
(二席)

僕たちはいつも
自分のことしか見ようとせず
ただいつも笑っていた
足元の小さな花を
踏みつけていても

柴田ともえ

肌に冷感
「夏バテの
良薬ですよ」・・・と
秋風の
ささやき

若井もとむ

世の変化
ついていけず
にが笑いに
無常というも
さみしくもかなし

さくら

14号が おわびと
初秋の風
フルフルと
ブラウスが
肌をくすぐる

小泉 秀子

私もいろいろやってみるが、身につかない。この人は凄い！何かを始める時、味方になるようなことがあると元気がでる。その感じがよくわかる。
毎年同じことの繰り返しです、私。
嵐の前の静けさ。
うちの庭にもあつて台風の後、無事だとわかり撫でてやりました。
純白がいつそう際立っていいですね。

私の行く末のよう。カタカナ語が多くなるとおばあちゃんは戸惑いますよね。
孫の就職を目前とした緊張感と、おばあちゃんの勘違いにユーモア百パーセント。
どんな風に説明されたんでしょう？

自己中心になりがちな自分と重なり、作者の優しさに感動した。
自分でも知らず知らずのうちに、誰かを傷つけているのでは と反省です。
自分のことしか考えなくなつて、人の親切や愛情を受け入れなくなつた人が多いように感じます。

同感！ 同感！
年々暑さがこたえてきてる自分にびつたり。うまいです。夏ばてした身体には、ほんとうにほっとする秋風ですね。

日進月歩の早い流れについてゆけない自分のよう。歳を重ねると、ちよつとしたことにも喜びや、淋しさを感じてしまふ。
「無常」の言葉が身にしみます。

台風は両刃の剣みたい。怖いけど後の爽やかな日が好き。水不足も解消されるしね。
フルフルと風の通り過ぎるさま、この表現がとってもいいです。

道を尋ねる好青年

よ志

我や先にと

暴発射の

おばさまグループ

“一人ずつ言っただけ”

飛行機雲に乗って思い切り走った

どこまで走れるかと思っただ

思い切り、思い切り走った

辿り着いたのは太平洋だった

GREAT!

大上 浩子

眠気まなこで

空田 和子

歩く

小声であいさつ

私の

健康バロメーター

母さん ありがとうね

和泉 圭

百万べん言ってもいいたりんね

(一席)

ありがとうは

一ぺんいや ええよ

親じゃけえ

わたしを

岡部亜矢子

朝へ

(三席)

呼び覚ます

温かい香り

おみそ汁

もしも

小原さなえ

先に八十代を経験して

(次点)

三十代に戻ったら みんな

がむしゃらに生きるんじゃないかなあ

後遺症

田中カズエ

人生の友と

思えば

運動に力湧き

前をみすえて今日も歩む

おばさま達は好青年が大好き。教えてあげたくて口々にしゃべるおばさま、困っているような青年の対比がいいですね。

特に「暴発射」

楽しいおちになっていますね。

いいなあ。どこまでも続く開放感を感じます。発想はよいけれど、少し長すぎるよね。二分の一くらいに縮めるとスッキリした良い歌になると。

いつも計画をたてても時には一日坊主だったり。こんな気持ちでいれば続くのでしょうか？無理なさらずに頑張ってくださいね。

四、五行が効いていて何ともいい雰囲気。温かさがじわっと伝わってきてほのぼのと。

こんな言葉で表現してみたいと、目標の一つに掲げている歌。脱帽です。

親になってみて親のありがたさが身にしみる、涙が出そうよ。

病床での母と私の会話です。

少ない言葉の中に、味噌汁の香りと暖かな家庭、懐かしさ等すべて感じる「和」の味。

若い夫婦と幼子にぜひ体験させたいと。

お母さんの味だよ、だから美味しい。

人生やり直せるものならば、ですね。

もっと勉強しておくんだとか、もっと素敵に生きられたのにと悔やむ思いに似てるかなあ。と。

自分の八十代をみてみたい。

後遺症だけで済んでよかった。

過去を宿しながらも、未来をみすえて力強く頑張る姿。

愚痴を言うより現実を受け入れて楽しく生きたいものですね。